

上野市街地に楽市楽座、にぎわう

●●市民夏のにぎわいフェスタ2007●●

市民夏のにぎわいフェスタ2007が8月18日に銀座通りや本町通りを会場に行われ、たくさんの人でにぎわいました。

今年も大勢の人が楽市に参加して、銀座通りのいたるところにお店をだしていました。



また、会場には5つのステージがあり、いろいろな催しが行われ、ゆとりステージでは、子どもたちに大人気の獣拳戦隊ゲキレンジャーショーが行われ、ゲキレンジャーの活躍に歓声をあげていました。

午後6時からは、青空ステージで市民盆踊り大会が行われ、江州音頭・芭蕉ふるさと音頭を踊りました。盆踊りには芭蕉を通じて文化交流をしている大津市からも参加があり、盛況のうちに幕を下ろしました。



好きだから島ヶ原 行ってみよう～

●●しまがはら夏まつり●●

8月4日、島ヶ原温泉やぶっちゃん温浴棟前でしまがはら夏まつりが行われました。

今年で16回目の夏まつりは、仮設ステージをはじめ関係団体のブースが多く並べられ、大勢の参加者でにぎわいました。

島ヶ原中学校の3年生は沖縄物産の販売、また、手作りゼリー・わらびもちなどは完売し大盛況でした。辺りが薄暗くなってくるとステージでは、「まつい&るう～」が、今回が初披露となるやぶっちゃん音頭を歌いました。

最後に夏の風物詩、花火が色鮮やかに島ヶ原地域の夜空に打ち上げられました。



地域の安心・安全は私たちが守る！！

●●平成19年 伊賀市消防団夏期訓練●●

7月29日に青山小学校グラウンドで、青山方面隊を中心に上野、島ヶ原、伊賀、阿山、大山田の各方面隊から消防団員430人、消防署員50人が参加し、平成19年伊賀市消防団夏期訓練を実施しました。

まず、人員・姿勢・服装を点検する「通常点検」を、次にポンプ車や積載車31台の車両の整備状態やポンプ、ホースなどを点検する「機械器具点検」を

行い、日頃の訓練の成果を確認しました。

桐ヶ丘で林野火災が発生し、民家に延焼する恐れがあるとの想定で行われた「林野火災想定訓練」では、応援要請を受けて駆けつけた各方面隊が、指揮者の指示のもと防火水槽からホースやポンプをつなげ力強く放水を行いました。

今岡市長は「昨年に比べ火災件数が増えています。日頃の地区での訓練に励み、消防団の伝統を引き継いでください」と激励しました。会場には、2月に防災協定を結んだ甲賀市消防団長も出席するなか、自分たちの地域を自分たちで守る消防団の決意を新たにしました。



とっても大好き！大山田 ●●●大山田ふるさと夏まつり●●●

8月15日、大山田ふるさと夏まつりが大山田せせらぎ運動公園で行われ、大山田の夏の風物詩として地域住民が力を合わせて作り上げてきたこのまつりは、今年で30回目の節目の年を迎えました。

昼の部は、カヌー体験会や地元産の木材で作った1万個の積み木で遊べるちびっ子つみ木広場、ターゲットボールやます釣りなど子どもたちが楽しめるさまざまなイベントで、じっとしていても汗が吹き出る炎天のなか子どもたちはまつりを満喫しました。

夜の部では、ミドルズのバンド演奏や大山田東・西保育園の園児によるちびっこ盆踊り、大山田ふるさと音頭、沖縄エイサーが披露されました。

差別のない素敵な地域を作っていこうと制作されたねぶたや作り手の創意工夫が光る創作花火が会場を彩り、それぞれが込めた思いが色取り取りの光とともにみんなの胸に焼き付けられました。

フィナーレには、会場の真上に打ち上げられる花火が夜空いっぱいに広がり、美しい光の祭典を一心に見上げていました。



熱いお祭り 楽しみました！

●●● 第23回 青山夏まつり ●●●

8月5日、青山支所・青山公民館・青山ホール周辺で第23回青山夏まつりが行われました。

櫓の前では、さくら保育園の年長園児など6つの団体がソーラン踊りなどを披露し、その後、4歳から12歳までの子ども達がヒップホップダンスを披露しました。



太鼓の演奏では、まなび青山子ども講座の和太鼓教室で太鼓を習っている子ども達が演奏を披露しました。続いて、青山太鼓保存会の皆さんによる演奏が始まると、力強い太鼓の音色に観客からは拍手がおこりました。



会場では屋台が立ち並び、地元住民が出店した金魚すくいには子どもたちに大人気でした。また、伊賀市厚生保護女性の会青山支部の皆さんによるバザーと、絵や模様を書いてもらうオリジナルのうちわ作りも行われました。

日が暮れてからは、櫓を囲んで盆踊りが始まり、その後は花火が打ち上げられました。

鮎 ゲットだぜ！！

●●● 青山河川環境フェスティバル ●●●

木津川の河川環境啓発事業として、今年で7回目となる河川環境フェスティバルが8月4日、青山支所北側の河川敷で行われました。

パネルの展示や魚つかみなどのイベントが行われ、親子連れなど、たくさんの方が集まりました。

魚つかみは、例年は木津川で行いますが、今年は前日までの雨で増水していたため、水槽に魚を放しました。

魚つかみ用の鮎はおよそ2000匹が用意され、一回あたり200～300匹ほどが放され、水槽には20人ほどが入り、魚を捕まえました。



魚つかみに参加した子どもたちは「ぬるぬるしてる」「鮎って思ったより硬い」など楽しそうに話しながら魚を追いかけていました。

